

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【京都府立中丹支援学校】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】										
2 実施対象者	<table> <tr> <td>P T A（児童生徒含む）</td><td>53名</td></tr> <tr> <td>中丹支援学校中学部生徒1～3年生</td><td>41名</td></tr> <tr> <td>福知山高等学校附属中学校1年生</td><td>40名</td></tr> <tr> <td>中丹支援学校高等部生徒1～3年生</td><td>54名</td></tr> <tr> <td>大江高校、福知山高校、綾部高校、工業高校</td><td>75名</td></tr> </table>	P T A（児童生徒含む）	53名	中丹支援学校中学部生徒1～3年生	41名	福知山高等学校附属中学校1年生	40名	中丹支援学校高等部生徒1～3年生	54名	大江高校、福知山高校、綾部高校、工業高校	75名
P T A（児童生徒含む）	53名										
中丹支援学校中学部生徒1～3年生	41名										
福知山高等学校附属中学校1年生	40名										
中丹支援学校高等部生徒1～3年生	54名										
大江高校、福知山高校、綾部高校、工業高校	75名										
3 展開の形式	<p>（1）学校における活動</p> <p>① 教科名（ 体育・特別活動 ）</p> <p>② 行事名（ 交流および共同学習 ）</p> <p>③ その他（ P T A地域行事 ）</p> <p>（2）地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>										
4 目 標 （ねらい）	パラリンピックの正式競技である「ボッチャ」やその他のスポーツ活動をすることで、次年度開催されるパラリンピック競技に興味や関心を持たせ、また関りを持とうとする機運を高める。										
5 取組内容	<p>（1）P T A地域行事</p> <p>P T A地域担当者が主催する地域行事において、パラリンピック正式競技のボッチャを取り入れ、地域の保護者並びに小学部から高等部の児童生徒の交流を図った。</p> <p>綾部地域 令和元年7月 6日（土）</p> <p>福知山地域 令和元年7月15日（日）</p> <div>   </div>										

	<p>(2) 交流及び共同学習</p> <p>平成29年度から始まった「福知山高等学校附属中学校との交流会」において、パラリンピック正式競技のボッチャ、障害者スポーツ・生涯スポーツで扱われている卓球バレー及びフライングディスク競技（アキュラシー競技）を活用して交流を深めた。</p> <p>今年度は、附属中学校にボッチャ用具を貸し出して事前学習で活用していただいた。その結果、当日の交流会では競技に意欲的な様子がうかがえただけでなく、投げ方や投げる方向を互いに指示しあうなど、活発な交流につながった。</p> <p>高等部五校交流会においてもボッチャや卓球バレーを活用した交流を行うことで、互いの交流を深めることができた。</p> <p>＜附属中学校との交流及び共同学習＞令和元年11月14日（木）</p>  <p>＜五校交流会（交流及び共同学習）＞令和元年11月16日（土）</p> 
6 主な成果	<p>交流校が事前学習において障害者スポーツ（ボッチャ）を取り入れることで交流が活発になり、また対等な関係で競技することができた。</p> <p>本校では、教育課程の中に障害者スポーツ種目を位置づけて活動させることで、主体的に活動に向かうことができた。</p>
7 実践において工夫した点（事業の特色）	<p>交流校への競技用具を貸し出した。</p> <p>教育課程に障害者スポーツを取り入れ、交流会等で、自信をもって活動に取り組むことができるように配慮した。</p> <p>ランプや八角マットなどを活用して障害特性に合わせた活動ができ、自信をもって行事に向かうことができた。</p>
8 主な課題等	<p>交流する場に移動する費用の工面が課題となる。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>障害者スポーツを取り入れた活動を教育課程に組み込み、その延長線上に交流及び共同学習を実施していく。</p>